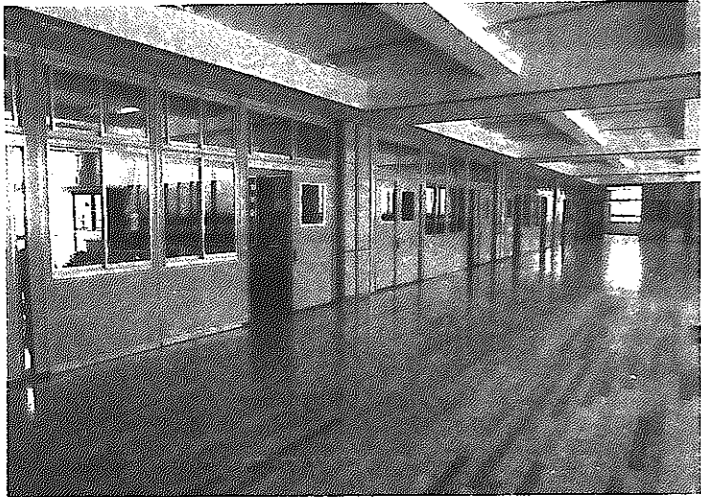


新臼井小学校が開校

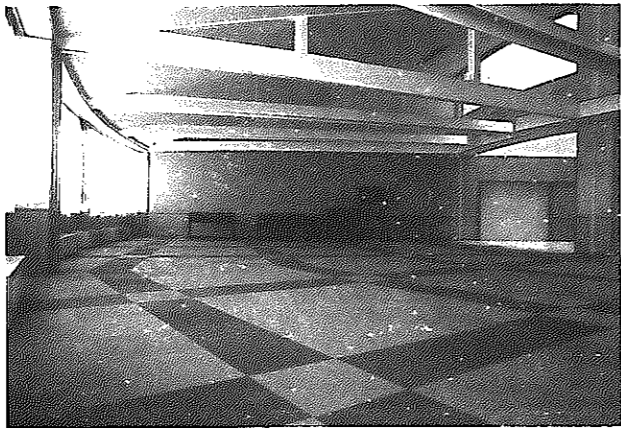
2つの歴史は、 今、一つになって...

新しい臼井小学校が四月に開校しました。外装はクリーム色の現代的なコンクリート、内装は木をいっぱい使った木造校舎風。新しさで温かさを感じさせる造りになっています。

臼井小学校と戸石小学校を統合する形で生まれた新臼井小学校。百二十年を越す両校の歴史は一つとなり、今、新しい歴史を刻み始めました。子供たちはもちろん、地区の人たちも開校を心から喜んでいきます。



教室を一步出ると、多目的スペースが広がっている。教室との仕切りは取り外しができ、広い空間での授業が可能になる。



扇形に広がる1階のプレイルーム。集会、授業の場であり、子供たちの交流の場でもある。



4月5日に入学式が行われ、新一年生47人が元気に登校。



低学年の普通教室。奥に見えるのがアルコーブ。遊び、触れ合いの場として利用される。

学校の概要

所在地	白根市大字臼井4483
面積	敷地面積 21,000㎡ 延べ床面積 (体育館、食堂完成時) 3,564㎡
構造	校舎棟 鉄筋コンクリート3階建て 体育館・食堂棟 鉄筋コンクリート(一部鉄骨造り)
総工事費	校舎棟 9億8,828万5千円
電話番号	(373) 5019

半成五年七月から建設が進められていた臼井小学校。四月に校舎棟が完成し開校しました。校舎棟は鉄筋コンクリート三階建てで、総工事費は九億八千八百二十八万五千円。郵政省前易生命保険積立金が融資され、建設されました。体育館、食堂、プールなど未整備部分は今年の秋に完成の予定です。校舎内部は木目がいっぱい、温かみのある造り。低学年の教室内にはアルコーブと呼ばれるカーペットを敷いた空間があり、遊び、触れ合いの場として利用されます。教室をつなぐ廊下は多目的スペースという広い空間。教室との仕切りは取り外しができ、仕切りを移動させて教室の広さを二倍にできます。このほか一階にはプレイルームと呼ばれる多目的室も設けられています。

ゆとり空間と木のぬくもり

けられています。これらのスペースを利用することで、ゆとりある自由な授業が可能になりました。

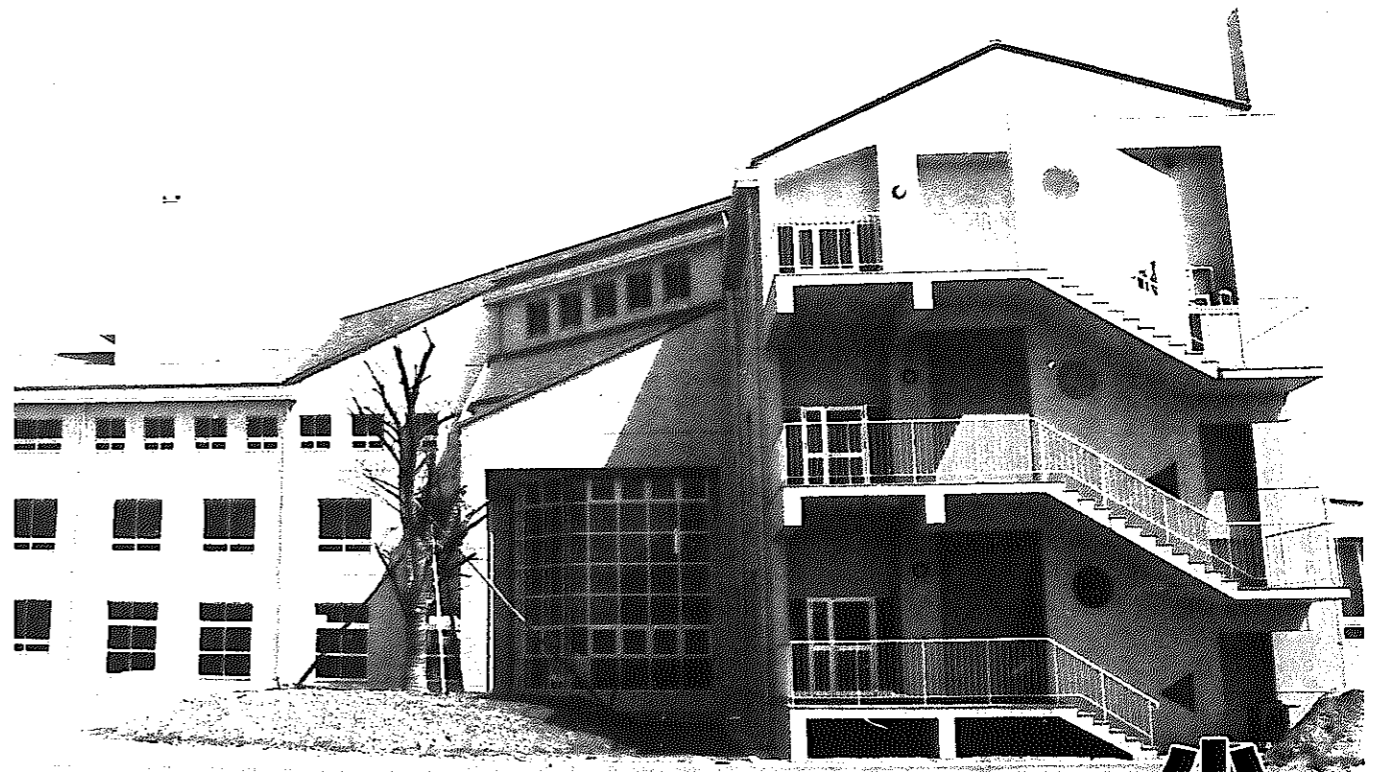
伝統校を統合

つぎやうに開校

四月五日に新校舎で第一回目の入学式が開かれ、新一年生四十七人が元気に登校しました。金谷校長は「今日は臼井小学校での初めての入学式。新一年生の皆さん、これから元気に学校に来てください」とあいさつ。PTA代表の松尾作一さんは「この小学校も一年生です。新一年生、在校生の皆さんは、今までの臼井小学校、戸石小学校の良いところを出し合って素晴らしい学校にしてください」と呼び掛けました。

旧臼井小学校、旧戸石小学校とも明治初期に創立された、長い歴史を誇る伝統校。しかし校舎の老朽化、児童数の減少などが進み、住民からは「統合して新しい校舎を」という声が上がっていました。平成元年六月には戸石小学校が火災のため焼失。統合に向けた気運は一気に高まりました。

平成二年には両地区代表による建設促進委員会が発足。市と協議を重ねながら、両校の中間地点に建設地を決定。平成五年に着工し、今回の開校となったものです。地元の人には「校舎もきれいだし、素晴らしい学校になるといいですね」と期待を語っています。



「臼」の字と「戸」の字を組み合わせて、花をイメージした校章。「小」の真ん中の棒を中心に、統合した臼井、戸石の両校が寄り添い、助け合うという意味も込められています。

